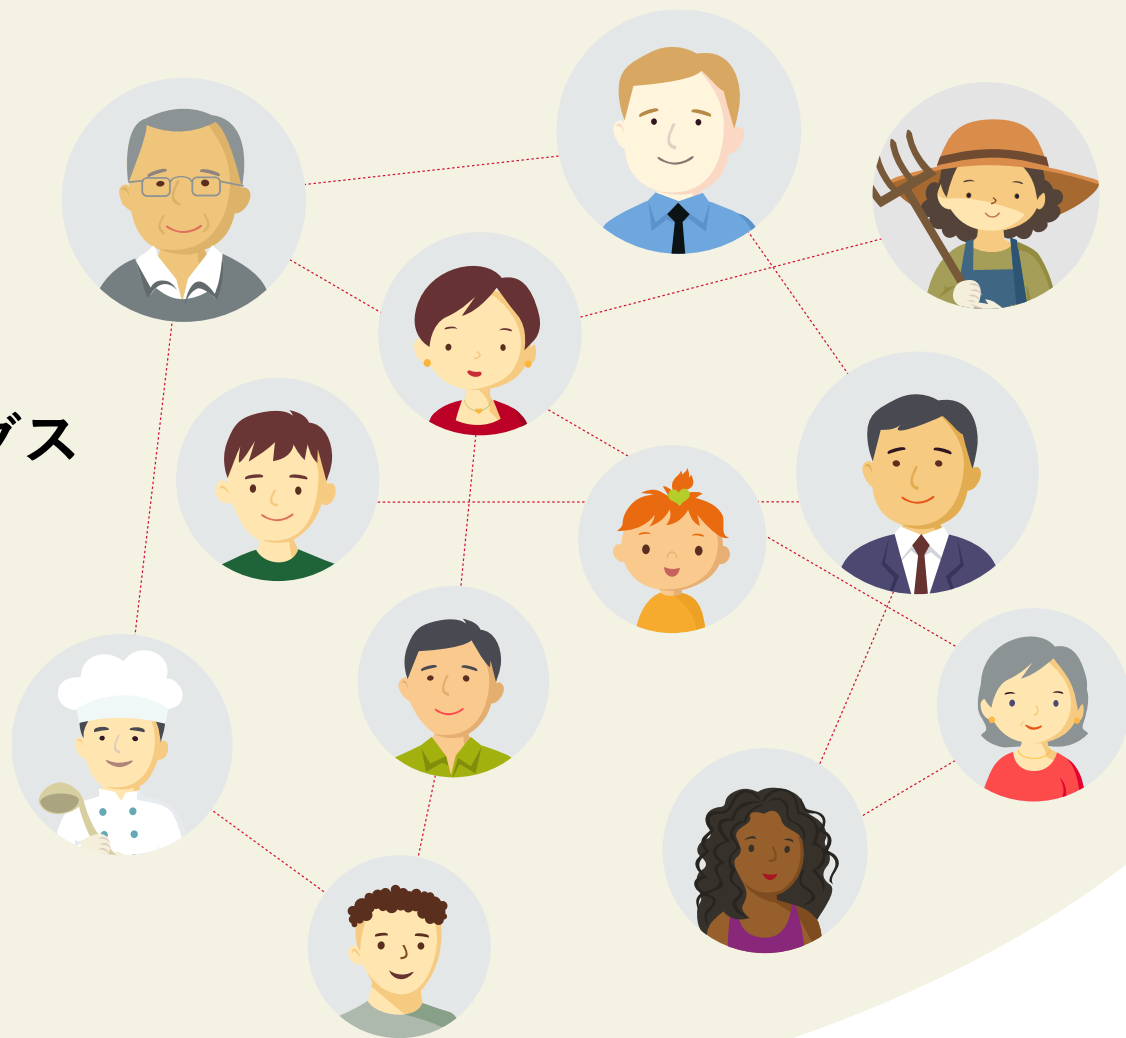


TAKAYOSHI

株式会社タカヨシホールディングス

2025年9月期 第2四半期決算説明資料

2025年5月12日





1. 事業の特徴

タカヨシ流のキャッシュリッチモデル

タカヨシ流のキャッシュリッチモデル



“企業から個人への販売や、企業間、個人間取引などの形態がある。アマゾンには自ら商品を販売する以外に、「アマゾン・マーケットプレイス」として外部の出品者にも売り場を提供。米国で2000年からサービスを始め、日本では02年に開始した。出品者にとっては、アマゾンの販売商品と並んでサイト上に表示されたり、代金回収を代行してもらったりするメリットがある。”

出典：共同通信社 共同通信ニュース用語解説

タカヨシ流のキャッシュリッチモデル ～タカヨシ流のマーケットプレイスの特徴～



売上代金を先にお預かりし
手数料を差し引いた金額を
生産者に支払う

登録制の委託販売方式であり
販売代金を一旦当社が受取るしくみ



先行投資額が
少なく、かつ小さい

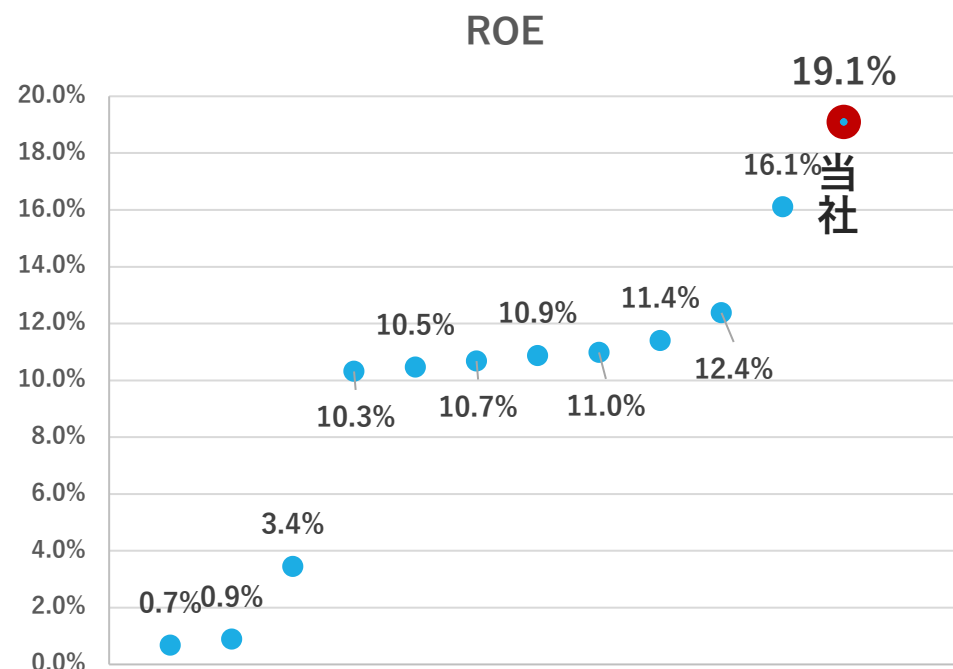
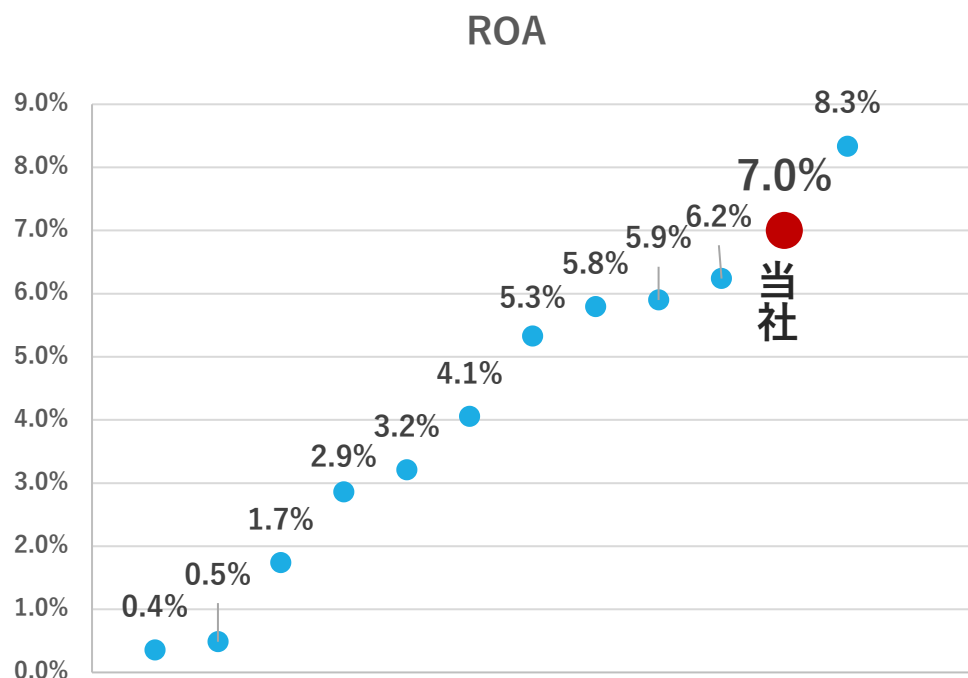
- ・在庫を持たず商品はすべて預かり
- ・出店投資額が小さく、投資回収が早い

ROA,ROEの他社(食品小売業)比較

直近決算期末の各社比較

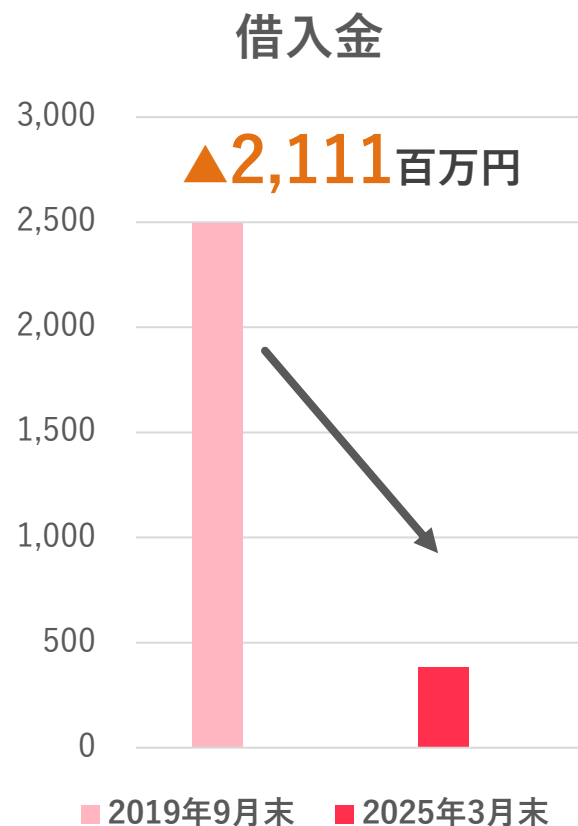
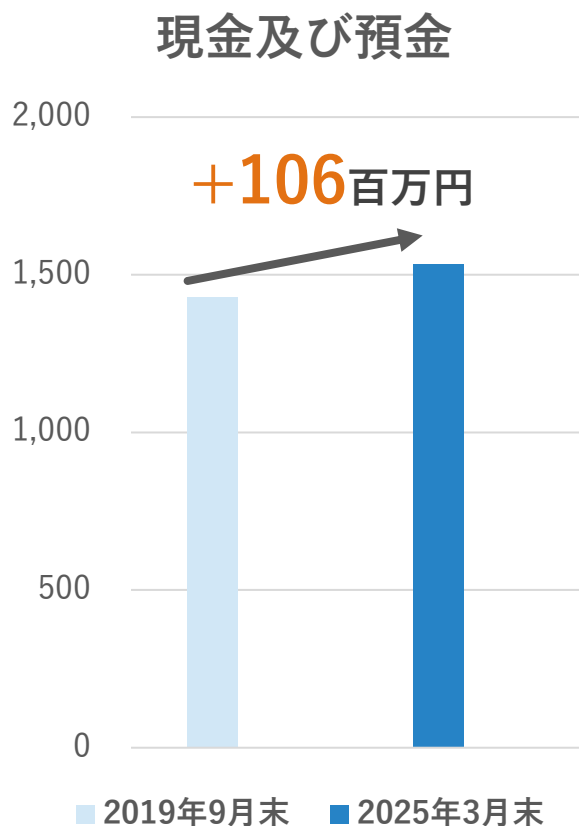
当社特有のビジネスモデル(プラットフォーム)であるため、
ROA、ROEを同じ食品を扱う企業との比較をするとグラフの通りとなる

● 当社
● 他社(食品小売業)



上場後、順調に成長を続け、財務基盤の強化を実現

(単位：百万円)



財務基盤の強化の詳細

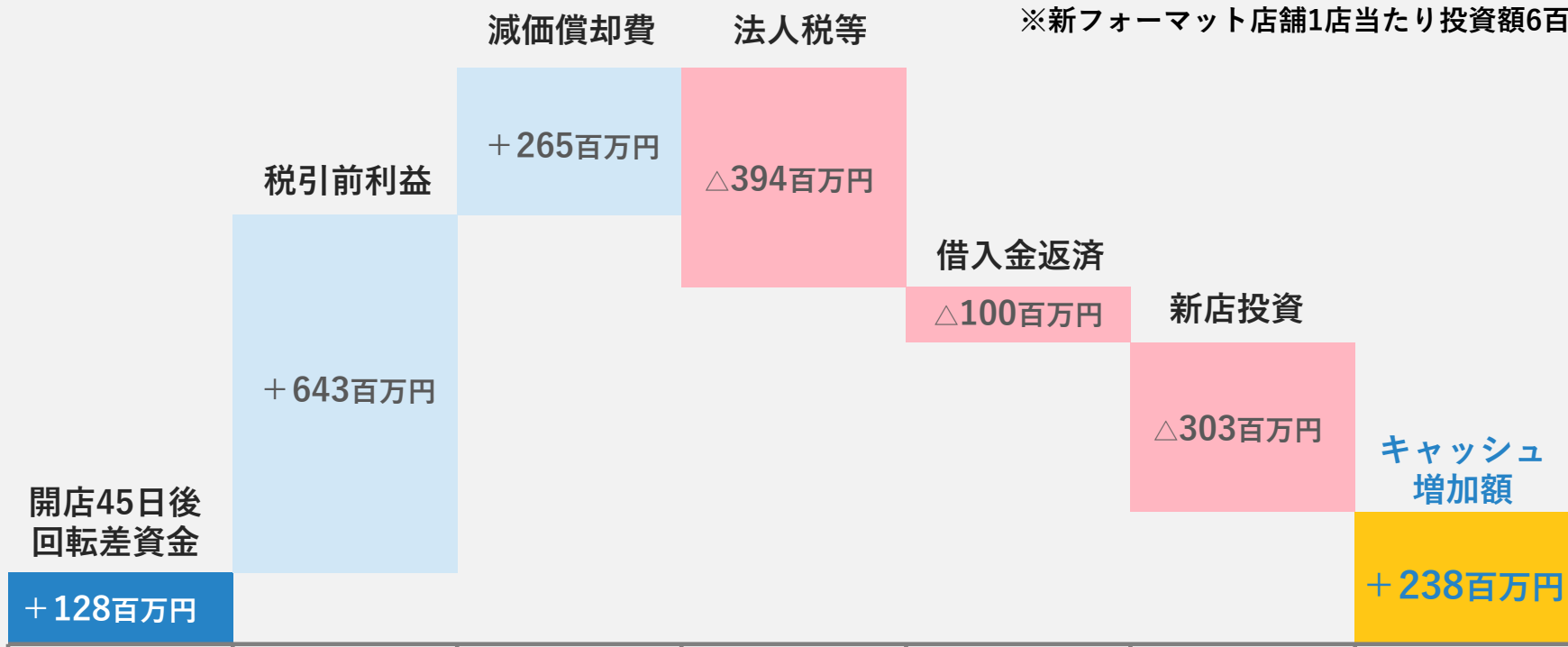
	上場時 2019年9月末	現時点 2025年3月末	増減
現金及び預金	1,429 百万円	1,534 百万円	+106 百万円
自己資本	35 百万円	3,029 百万円	+2,994 百万円
自己資本比率	0.7 %	47.9 %	+47.2 %
増加の主な理由			
	①株式上場による資本金等の増加		1,242百万円
	②当期純利益の積み上げ		1,693百万円
借入金	2,495 百万円	383 百万円	▲2,111 百万円
減少の理由			
	借入金の繰上返済の実施		1,479百万円

キャッシュフローの強み

- ・ 1店当たりの投資額が小さい
- ・ 「営業キャッシュフロー＋回転差資金」で「投資＋税金」の支払いを賄える

【50店の新規出店をした場合】

「条件」 ※初年度店舗直接利益0円と仮定
※56期上期の数値の年換算で算出
※新フォーマット店舗1店当たり投資額6百万円と仮定





2. 2025年 9 月期第2四半期 決算ハイライト

業績サマリー（第2四半期連結累計期間）

営業収益

4,062百万円

前年同期比

+4.4%

業績予想進捗率

51.3%

営業収益、
営業利益共に
業績予想を
上回る実績で推移

営業利益

462百万円

前年同期比

△8.0%

業績予想進捗率

62.9%

主要な経営指標（KPI）

流通総額

13,870百万円

（前年同期比+2.9%）

店舗数

187店舗

（前期末より1店舗減）

登録生産者数

32,873件

（前期末より1,215件増）

通期業績予想における進捗は、順調に推移

野菜・果実の強化を進め、また、出店を継続したことで、流通総額、営業収益は前年同期を上回る結果となった。

また、不採算店舗の積極的な閉店実施により、利益改善が進み、販管費のコントロールも並行して行うことにより、利益面は高い進捗率となっている。

（単位：百万円）

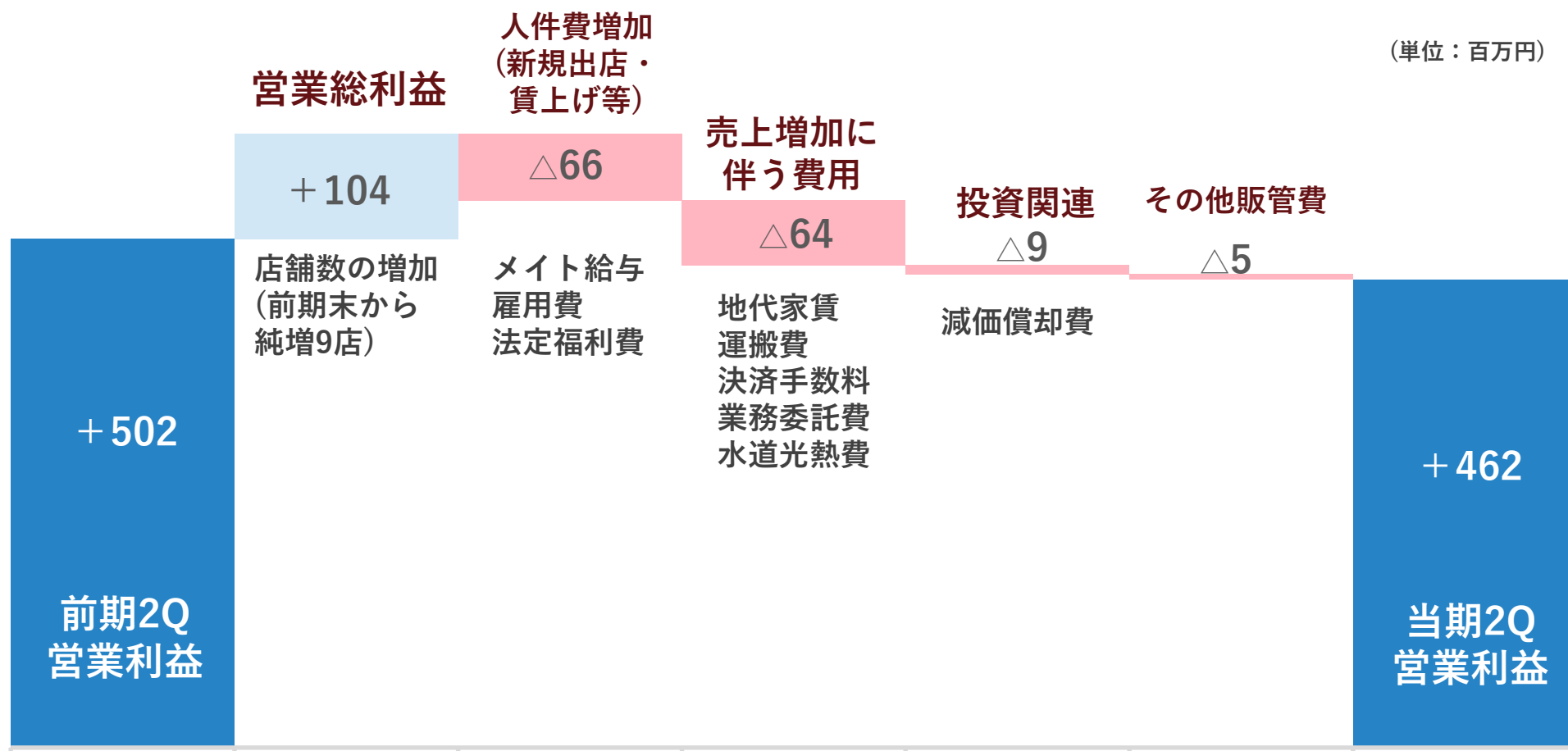
	2024/9期 2Q実績	2025/9期 2Q実績	通期業績予想	進捗率
流通総額	13,479	13,870	26,961	51.4%
営業収益	3,890	4,062	7,925	51.3%
営業利益	502	462	735	62.9%
経常利益	500	456	720	63.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	259	197	300	65.8%

PL前期比較

(単位：百万円)

	2024/9期 2Q実績	2025/9期 2Q実績	増減	変動率	主な理由
流通総額	13,479	13,870	+391	+2.9%	・店舗数の増加（前期2Q末から純増9店）
営業収益	3,890	4,062	+172	+4.4%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益	3,630	3,736	+106	+2.9%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益率 (流通総額ベース)	26.9%	26.9%	± 0.0pt	-	
販管費合計	3,241	3,386	+145	+4.5%	・新店稼働による増加（人件費、店舗関係費等） ・流通総額の増加による変動費（地代家賃等）の増加 ・水道光熱費の増加 ・物流強化に伴う費用の増加
営業利益	502	462	△40	△8.0%	・販管費の増加
営業利益率 (流通総額ベース)	3.7%	3.3%	△0.4pt	-	
経常利益	500	456	△44	△8.8%	
税引前当期純利益	469	321	△148	△31.6%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	259	197	△62	△23.9%	

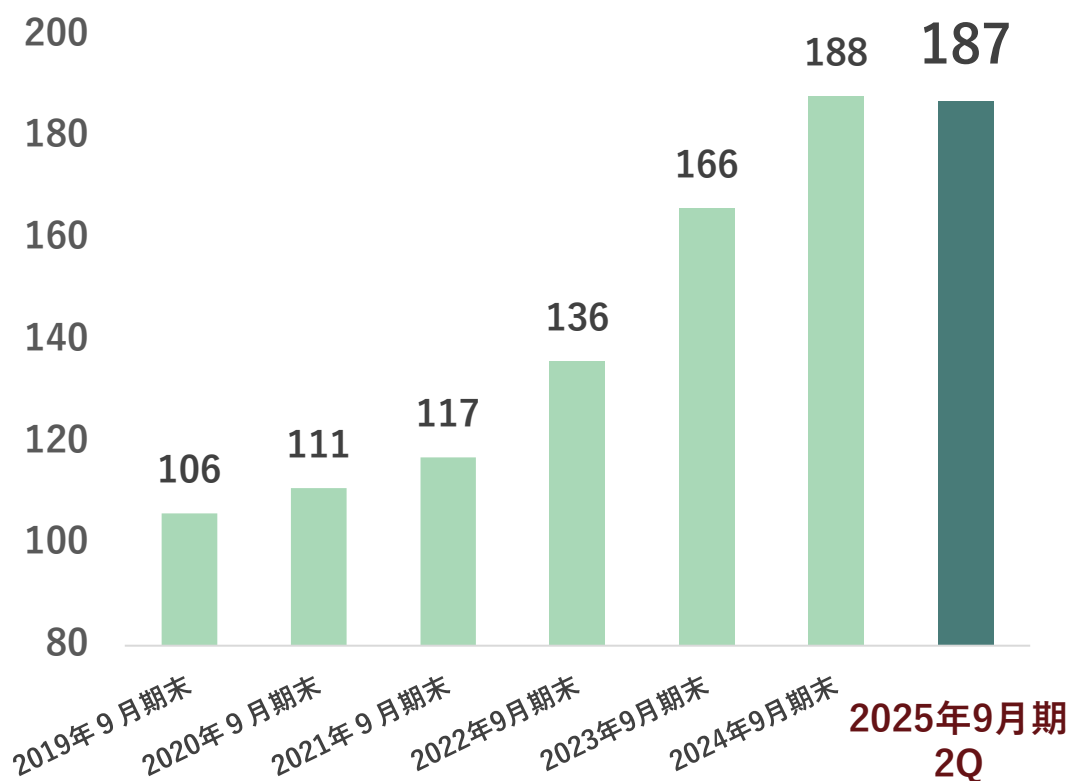
新規出店に伴うメイト給与、売上増加に伴う地代家賃や水道光熱費が大幅に増加



店舗数の推移

今期は既に10店舗出店し、今期目標20店に向け着実に増加

(単位：店)

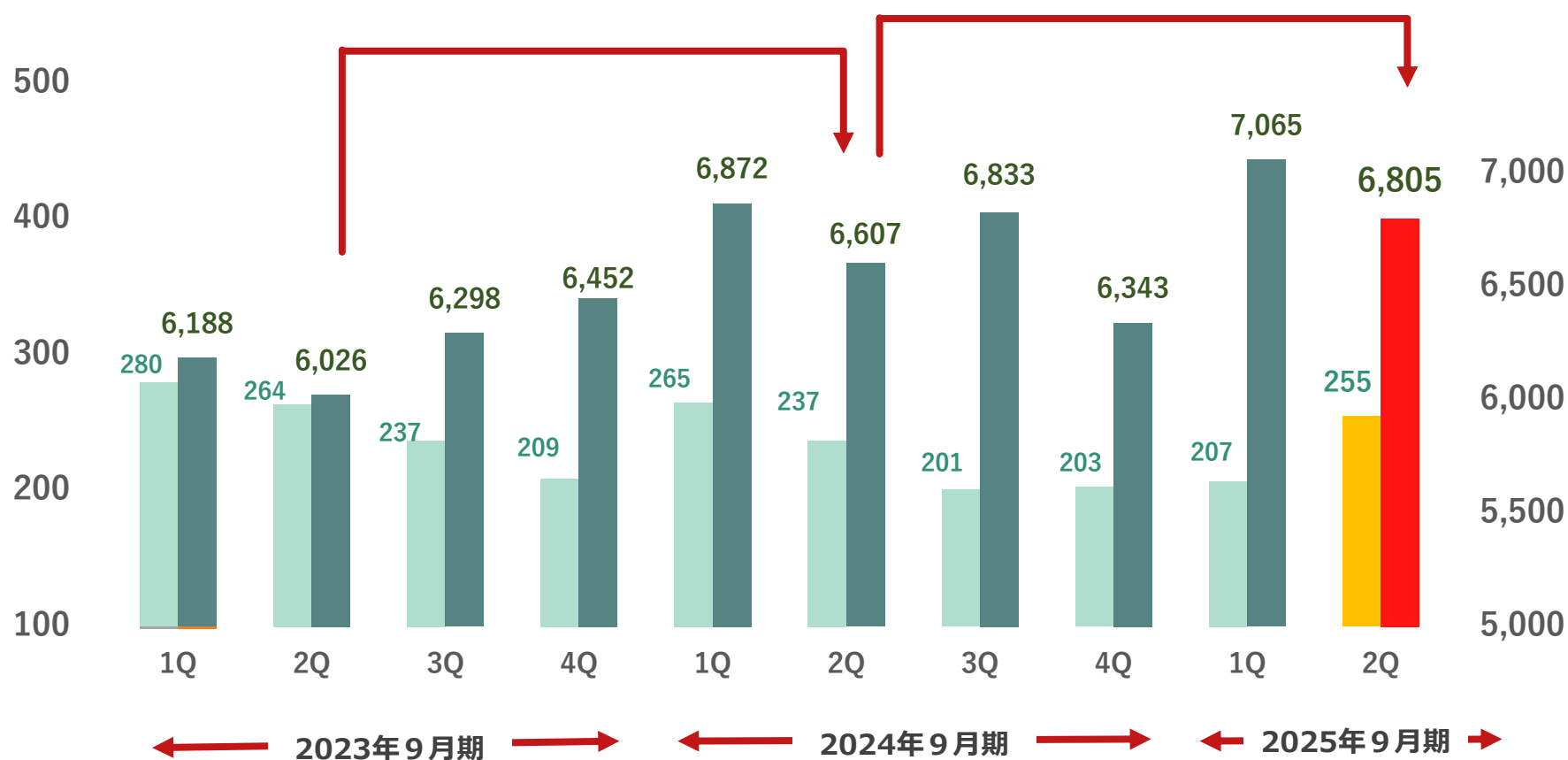


地域	当期出店数	当期閉店数	店舗数
北海道	—	1店舗	3店舗
東北地方	—	1店舗	3店舗
関東地方	7店舗	5店舗	111店舗
中部地方	—	2店舗	33店舗
近畿地方	3店舗	—	19店舗
中国・四国地方	—	1店舗	8店舗
九州地方	—	1店舗	10店舗
合計	10店舗	11店舗	187店舗

四半期ごとの流通総額と営業利益の推移

営業利益（左グラフ）
単位：百万円

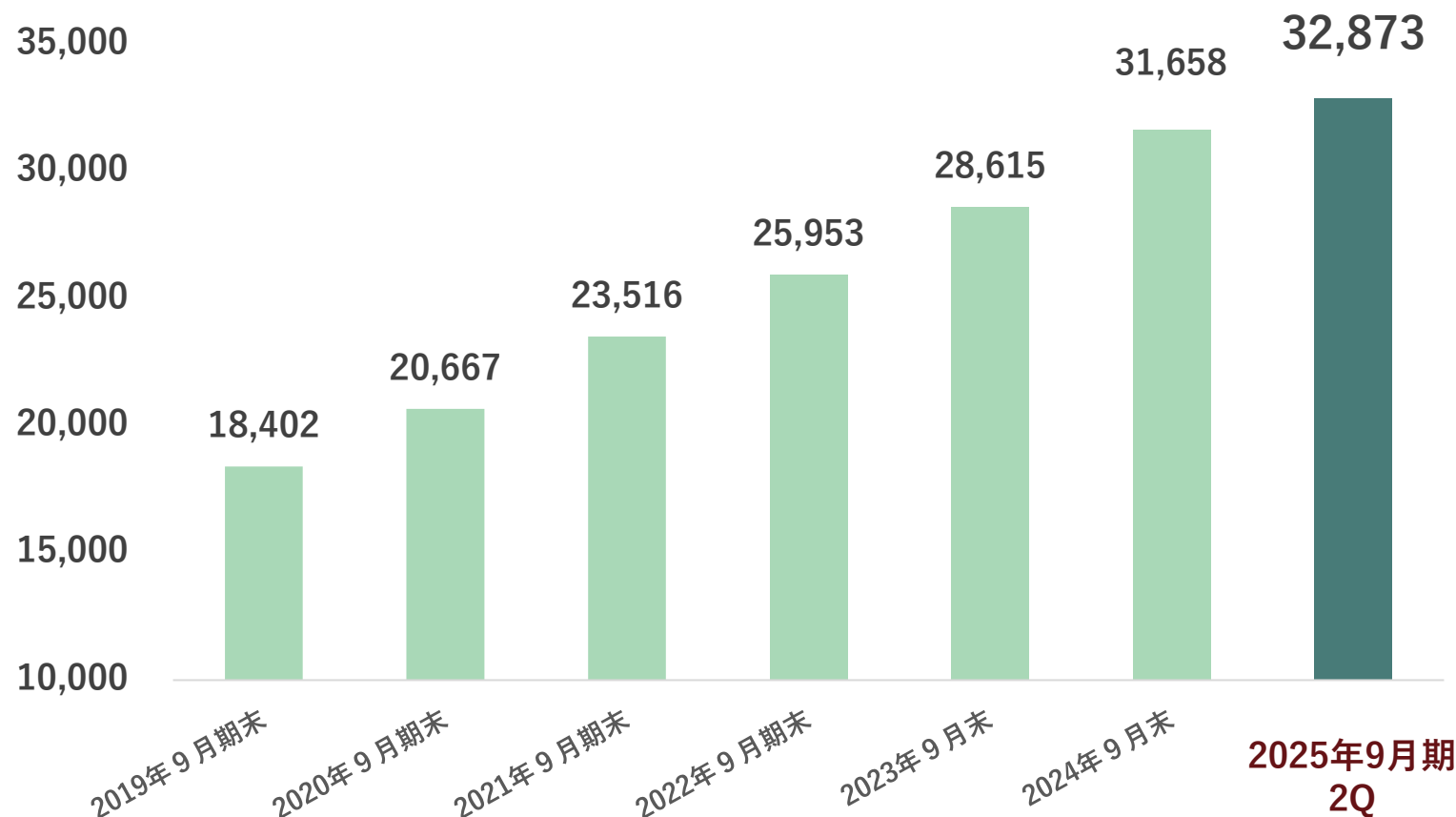
流通総額（右グラフ）
単位：百万円



累計登録生産者数の推移

新規出店に伴う生産者開拓と並行して、
既存店舗の追加開拓も推進し、累計登録者は順調に推移

(単位：件)



登録生産者数：「わくわく広場直売所会」へ登録された生産者の各期末時点の件数

新フォーマット店舗（小商圈小規模店舗）の出店

商業施設以外の出店として、新フォーマットの店舗展開を加速

2025年3月17日オープン

北柏松葉町店



2025年4月14日オープン

市川南店



2025年4月21日オープン

勝田台店



2025年9月期末より株主配当を実施予定

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付け、利益還元につきましては、事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保の充実に努めつつ、経営成績の進展に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

	第2四半期末	期末	合計
株主配当の予定	-	20円 00銭	20円 00銭

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としています。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合があります。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますので、当社として、必ずしも達成を約束するものではありませんが、事業計画を見直した場合など、記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示いたします。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料・データの無断転用はご遠慮ください。